



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

2月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2016年(平成28年) 2月1日(月)

NO. 173

## 天候気候の倫理

世の中には、思い通りにならぬことは多い。しかし勤め先が気に入らねばかえることも出来れば、やめることも出来る。店に客がつかなければ、広告を出す手もあり、店の位置をとりかえる手もある。しかし、夏の暑さ、冬の寒さ、雨・風・雪・霧…これはどうすることも出来ぬ。もちろん暑ければはだかになり、寒ければ暖をとる。雨には傘をさし、雪にはガイトウを着る。このように人の努力で、天候気候は多少やわらげること防ぐことも出来るが、これはわずかに限られた一部

望むをえ  
ぬ木久

南カリフォルニア梅考堂

1席 梅本 豊造

スムーズに迷いなく美しい作品です。

追及再  
建會期

南カリフォルニア

2席 長谷川松子

堂々と伸び伸びと書かれています。

分のことであって、これをこえると、もうどうすることも出来ぬ。

溝を掘り、陸橋をつくり、ダムをつくって、かんがい設備、発電をすること、山上に火をたき、社寺にこもり祈祷読経して雨を祈る古式、飛行機や砲弾をつかって雨を降らす降雨術、これも或いは効果のあることもある。しかし何時如何なる時にも、天気と気候に對して、ぬかりのない絶対安全な準備をし防衛をすることが出来るであろうか。

このように、思い通りにならぬ、その上今日も明日も一分一秒もはなれることの出来ぬ天候気候に對する心がまよえと、その行い、これが「天候気候の倫理」である。たとえば、親に對する倫理が「孝」であり、大衆に對するみちが「和」であるように…。

それは、「順応」(そのまま、すなおに受け取って、手だてをして、少しも不足に思わず反抗せぬこと)

「畏敬」(えらい力だと敬い畏れ、なごやかな心で親しむこと)

である。「中略」  
天候気候は、正しく天来の

もの、天より与えられたものの、人間の力でこれをどうすることも出来ぬもの。この「どうすることも出来ぬもの」に對して、いやに思い、恐れきらう。これほど、馬鹿げたことは無い。これを、タンクにカマをふり上げて立ち向かうカマギリにたとえよう。

このような思っても及ばぬことに気を遣い心をくだき、心配し恐れることが、どれだけ多くの病氣の原因になり、また起った病氣を悪くする役目をさせていることであろう。(純粹倫理原論から抜粋)

## 倫理文化講演会

五月十五日(日)

ホリデーイン・トーレス

テーマ「いのち」の輝き

講師 伏木久登部長

文化講演会を開く目的は、広く社会一般に純粹倫理を知ってもらい、その方が幸せになつて良い家庭、良い社会を共に作ることです。純粹倫理をお伝えするのは私達の役目です。今からお友達に呼びかけましょう。

## 子供短歌コンクール

### 三人が佳作

しきなみ子供短歌コンクールは、応募総数六万四九六六名、賞候補二三名、入選二九一名、佳作五三七名でした。

南カリフォルニア支苑からは一八名が参加し三名が佳作に入りました。良かったですね。ご協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。来年もよろしくお願い致します。

## 新年の抱負

一月三日(日)朝の集いで皆さんに今年一年の抱負を発表して頂きました。健康に気をつけて倫理の実践に励む、が多かったです。元気で実践して幸せな一年を過ごしましょう。

## 倫理セミナー

一月十日(日)伏木久登部長の倫理セミナーには、しきなみ会員、秋津書道会員、コンピュータークラスの会員など、朝の集いに参加されない会員が来てくださいました。

都合がつかなくて集いにはいらつしやらなくても、セミナーで倫理を学んでくださるのほどもうれしいです。伏木部長の記事は来月号です。

おめでとー(う)さいます

『しきなみ』一月号

群螢集(西東京・海外)

三席 松永典子

飛雲集(西東京・海外)

三席 伊澤潤子

入選 摺木洋子

青泉集(西東京・海外)

入選 飯田 隆

『秋津書道』一月号 競書

一席 梅本豊造 高等部 (東京)

二席 長谷川公子 々 々

入選 咲田静子 々 々

三席 立川宏子 一般部(東京) 草書

四席 竹内康子 一般部(東京) 行書

七席 前田グレース 々 々

三席 井上郷子 一般部(東京) 楷書

五席 香山幸子 々 々

入選 小倉治望 々 々

入選 石岡美紀江 々 々

入選 大竹信雄 々 々

調和体

六席 梅本豊造 高等部

筆勢がよく出ており、線質も美しい。

立川 宏子

3席 立川 宏子

筆勢がよく出ており、線質も美しい。

追及再

建會期

南カリフォルニア 竹内康子

4席 竹内 康子

柔らかな書きぶりが好作品。

珍殊一 切排斥

南カリフォルニア 井上郷子

3席 井上 郷子

伸びやかに丁寧に書かれました。

珍殊一 切排斥

南カリフォルニア 香山幸子

5席 香山 幸子

しきなみ短歌

体調を崩し元気のなき姑に夫根気よく匙を運ぶも

梅本和子

見はるかす小高き丘の裾野まで黄色にゆれるひまわりの花

門園美枝子

ワーカーを頼りに歩む夫の背を濡らすみ汗は勲章のごと 松永典子

まぶし気に輝く姿は誇らしげ皆既月食終えた満月 尾崎よしみ

毎朝の散歩で今日はどんな人の笑顔に会えるか 与那覇寛雄

澄みわたる名月眺め君といる差しつ差されつ人生の午後 森田のりえ

世話になりし友をもてなす夫の面笑顔のまんま 草野律子

生徒等に起立をさせて数え方一人二人と体感させる 摺木洋子

何処へでも一緒にについて来た娘今は首振りヘツドホンして 松元依子

敬老の祝賀の席にバラの花贈られはにかむ卒寿の夫 滝川歌子

小夜ふけて風鈴の音に和すること蟋蟀鳴くを独り聞き入る 杉野和子

高齢化社会と人は言うけれどいつの間にも仲間入りなり 長谷川公子

留守電は姑の元気を響かせてやさしさあふれる部屋と変わりぬ 塩出笑子

お彼岸のさやけし月の光浴び団子ほおぼり虫の音を聞く 伊澤潤子

動かずにただじっとしてただけなのに流れる汗は止まることなし 飯田隆

我家では何時も十人集まりて孫らの笑い声高く響くも 梅本豊造

玄関をそつと閉めるもすぐ開いて目覚めた妻の我を見送る 甲斐靖幸